

# DAIQ を活用して 生産性向上に着手

(株)三明工業

(株)三明工業（神奈川県寒川町）は、自動車業界向けの試作部品設計・製造や、プレスや板金加工による小ロットの自動車部品製造を手がける（写真1）。3次元（3D）CAD、コンピュータ利用製造（CAM）のオペレーターや設計技術者を抱え、試作用金型の設計から金型製造、板金加工、溶接、検査までを一貫で対応できる点が強みだ。また、試作用に作った金型を生かし、小ロットで部品を製造する。製造数は多くても500個ほどで、トラック部品の受注が多い。

創業者の塚田敬二会長は、「トラックは生産台数が乗用車に比べ少ない。試作を繰り返したり部品ごとに金型をいちいち作っていたりしたら成り

立たない」ことから、三明工業に声がかかると話す（写真2）。最近では、NKシステム（神奈川県綾瀬市）が開発した生産管理システム「DAIQ（ダイク）」を小ロット生産に導入し、工程内の仕掛品の状況を把握して全体の効率化を進めることや、自主的に前後工程の状況を把握して仕事をするなど作業者のスキルアップに活用しようと挑んでいる。

## 試作用金型の製造技術に持ち味

三明工業は1985年に社員数5人でスタートした。最初は試作部品の製造専業で、神奈川県内に完成車工場を持つ日産自動車向けが主だったという。だが、自動車産業も合理化が進み、完成車メーカー各社は新車開発の試作回数を減らしていった。おのずと取引先の開拓を進めることになる。

2000年頃からは日野自動車向けのトラック部品試作の比率が増えていった。扱う品目は多岐にわたり、トラックのブレーキ部品のプースタのケ



写真1 三明工業本社外観

### 会社概要

会社名	(株)三明工業
代表取締役	塚田とく子
本社	神奈川県寒川町倉見 2277-1
TEL	TEL: 0467-74-4060
設立	1985年
従業員数	32人
売上高	約5億円（2021年）



写真2 三明工業の塚田敬二会長（左）と長倉宣夫副会長（右）